

## 「信頼できるコンピューティング」 環境の実現に向けて

マイクロソフト株式会社 業務執行役員 最高セキュリティ責任者  
／JNSA 副会長  
東 貴彦



セキュリティへの取組は、私どもの業界にとって、かつて経験したことのない大規模かつ重大な挑戦となりました。

過去20年間、テクノロジーは驚くほどの進歩を遂げ、その成果は企業から一般消費者まで広く活用され、あらゆる人々の可能性を広げています。これに対し、わずかな犯罪的な人間の引き起こす行為はテクノロジーとその利用環境への信頼感を損なうものであり、断じて容認することは出来ません。

今や社会に不可欠なインフラとなったコンピュータとネットワーク。その重要な構成要素の一つであるOSベンダーとして、セキュリティに対する取組は単に脆弱性の継続的修正にとどまるものではありません。ウイルスやワームの発生を抑止するためにはソフトウェアの品質基準について全く新しい考え方が必要となってきました。ツールやプロセスの継続的な改善も必要です。また悪意あるコードや破壊的プログラムからシステムを守るために悪影響を封じ込めて抵抗力を強化する新しいセキュリティテクノロジーの開発も求められています。

一方、インターネットを通じてほとんどのコンピュータが相互接続されている現在のネットワーク環境では、ユーザー側にもコンピュータの管理とセキュリティ対策への理解ならびに実施についての積極的な姿勢が強く期待されています。

このため今後のセキュリティ対策は、OSベンダーが自社製品とテクノロジーのセキュリティ対策を最優先課題として取り組むと同時に、「技術」と「人」と「プロセス」の三要素が補完的・統合的に機能すること、そしてこれがあらゆるユーザーで実現することを目指して業界とユーザーが一致協力して推進することが不可欠と考えます。

JNSAは、「技術」的検証の促進、「人」に対する啓発やトレーニングの実施、「プロセス」の正しい運用の裏づけとしての調査活動、など多岐にわたる活動を行って市場全体として取組むセキュリティ対策の中で重要な役割を担います。

マイクロソフトはJNSAをベストパートナーとして協力し、「信頼できるコンピューティング」環境の実現に貢献したいと考えています。